

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	カゴメ株式会社					
代表者名	氏名	山口 聡	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	愛知県名古屋市中区錦3丁目14番15号					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	濃縮果汁によるジュース製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	3833	4023	4315	4041	3496
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	7675	7816	8620	8080	7004
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	58		57	60	54
自動車の台数	台	2		2	2	2
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	1				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	工場事務所での来場者への公表 ・担当：生産管理課 総務G (0266-62-3111) ・閲覧可能時間：8:30～17:00（土日祝日以外）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

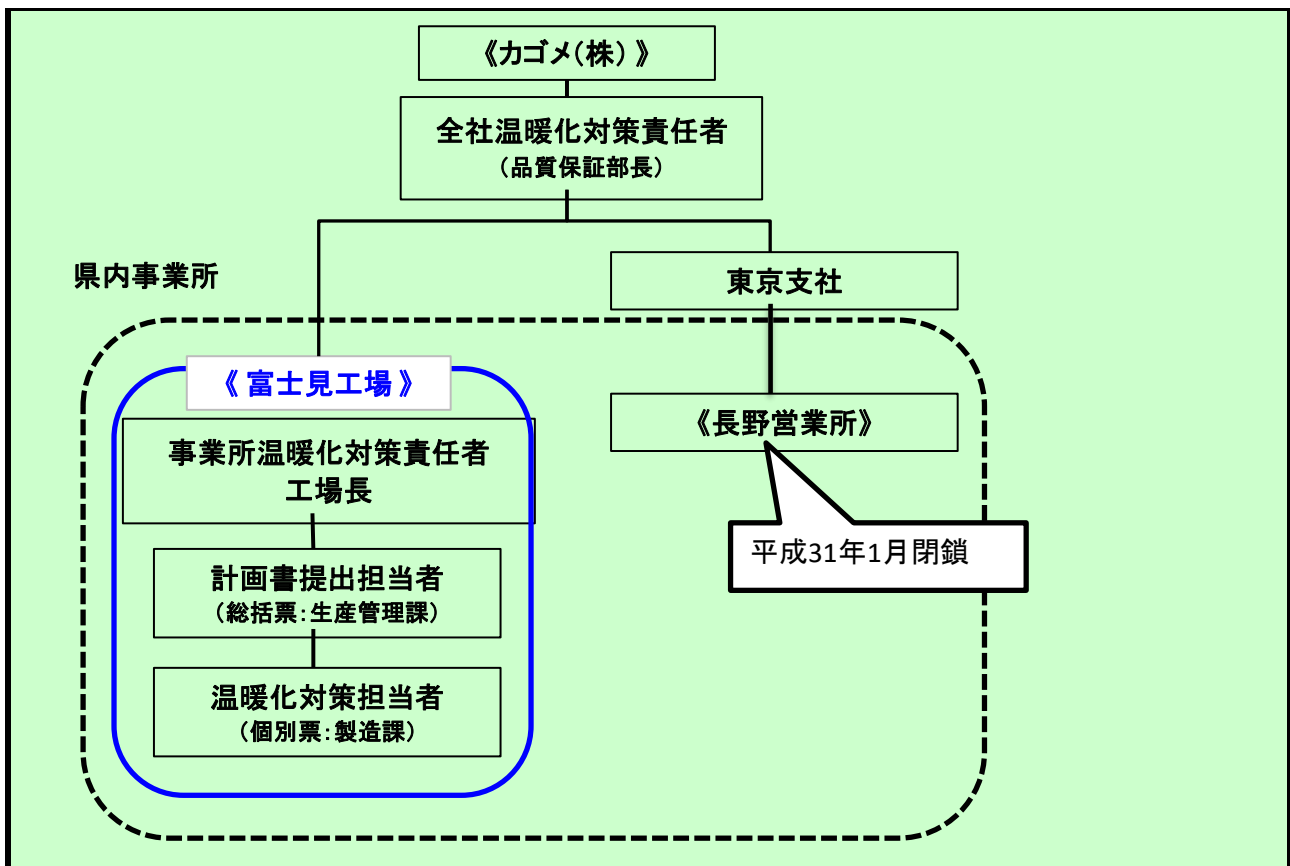
様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

カゴメ株式会社富士見工場は、「野菜飲料を国民健康飲料に育成する」ことを事業基盤として、様々な野菜を生み出す信州・富士見高原のすばらしい自然に感謝し、この自然環境と調和のとれた企業活動を続けるために、環境に配慮した継続的な改善活動を次のとおり推進いたします。

- (1) LNG及び電力などのエネルギー使用量削減を推進し、地球温暖化につながるCO2の排出抑制を図ります。
- (2) 設計及び生産工程改善と分別収集やリサイクル率向上により、廃棄物の低減を図ります。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

全社環境会議 (1回/年)
工場環境委員会 (毎月)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7,675	t-CO ₂	仕掛量	101.25	単位	千kL	
28年度	調整後排出量	7,644	t-CO ₂	基準原単位	75.80	t-CO ₂ /	千kL	
目標年度	目標排出量	7,816	t-CO ₂	目標原単位	73.53	t-CO ₂ /	千kL	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	(1.84)	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	3年間で原単位を3%以上下げることとする。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	8,620	t-CO ₂	仕掛量	114.45	単位	千kL	
	調整後排出量	8,579	t-CO ₂	原単位	75.32	t-CO ₂ /	千kL	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(12.32)	%	削減率	0.63	%		
排出量等の増減理由	平成28年度に静岡工場閉鎖。その分の生産量を富士見工場に負担したため、使用エネルギーが増加。その分、CO ₂ 発生量が増加した。							
第二年度	排出量	8,080	t-CO ₂	仕掛量	108.42	単位	千kL	
	調整後排出量	8,049	t-CO ₂	原単位	74.52	t-CO ₂ /	千kL	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	(5.28)	%	削減率	1.68	%		
排出量等の増減理由	製造設備の改造により特定品種への切り替えを実施した結果、非製造日が増加したため、生産効率が低下した。 ライントラブルが多く発生し、確認を含め停止時間が増加したため、エネルギー効率が悪化した。							
第三年度	排出量	7,004	t-CO ₂	仕掛量	95.11	単位	千kL	
	調整後排出量	6,968	t-CO ₂	原単位	73.64	t-CO ₂ /	千kL	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	8.74	%	削減率	2.84	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	ライントラブルが全体的に少なく、効率的な生産稼働となった。 熱負荷の高い生産ラインの稼働縮小から、生産終了となったため、LNG使用量が減ったことにより、原単位は大きく改善した。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	58	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	57	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	1.72	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	60	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	(3.45)	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	54	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	6.89	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	1	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752 LEDの導入	29	25	29~30	23.57
2	エネ起	360799 ポンプ、ファン、ブロワー、コンプレッサー等に係るその他の削減対策	29	16	29	27
3	エネ起	330208 空気調和設備の保全管理	29	64	29	2.9
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	31		41	31	36
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上	1	7,664	1	8,609	1	8,069	1	7,004
1,500kl以上 3,000kl未満								
1,500kl未満	1	11	1	11	1	11		
合計	2	7,675	2	8,620	2	8,080	1	7,004

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄	17.06	16.92	17.97	16.13
N ₂ O	40.55	39.82	42.59	38.03
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	57.61	56.74	60.56	54.16

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	2	2	2	2
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

15 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率99.99%（公共交通機関より離れており近隣からの徒歩者以外、マイカー以外の通勤は困難）
公共交通機関の利用促進	県外出張は公共交通機関を利用するよう指導。出張時の公共交通機関利用の啓蒙
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	製品の物流は社外関係会社にて共同配送実施

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	I S O 14001（2015年度版）全社認証	2018年
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	カゴメの森保全事業、入笠山植栽ボランティア参加
第一年度実績	カゴメの森保全事業、入笠山植栽ボランティア、諏訪地区森林づくりの集い参加
第二年度実績	カゴメの森保全事業、入笠山植栽ボランティア、諏訪地区森林づくりの集い参加
第三年度実績	カゴメの森保全事業 入笠山植栽ボランティア（雨天中止）、諏訪地区森林づくりの集い（台風中止）

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	照明のLED化順次実施	14
その他	照明のLED化順次実施、ハイブリッド車両導入の検討 太陽光発電設備の設置検討 ボイラー発生CO ₂ のトマト栽培ハウスへの導引検討	100